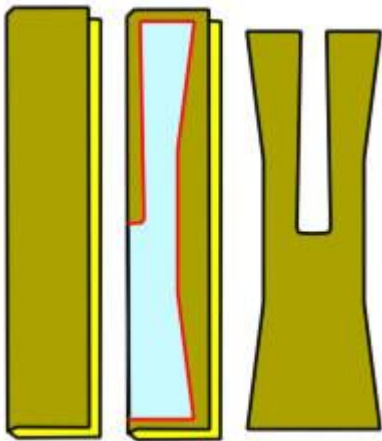


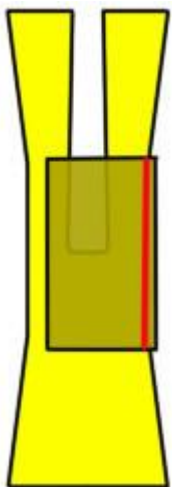
棒えり（長方形のえり）を使うと左側、えり 2 を使うと右側のデザインを作れます
 ここから下は左の作り方の説明になります
 右側の改造パーツえり 2 を使った縫い方は下のほうにあります



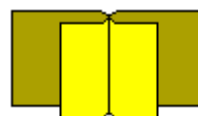
裁断した全てのパーツの端をほつれどめをしてください。
 指定されたパーツの裏に接着芯を付けてください。
 くわしくは[縫う前の下準備](#)を参照。
 お洋服に模様や刺繍を入れたい場合はこの時点で入れておくと楽です。



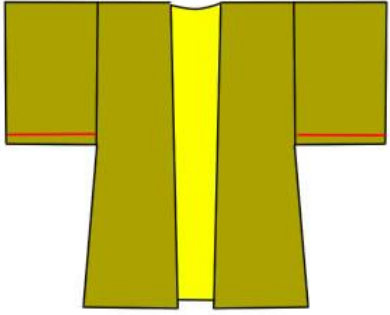
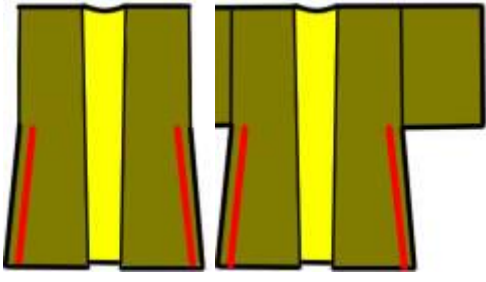
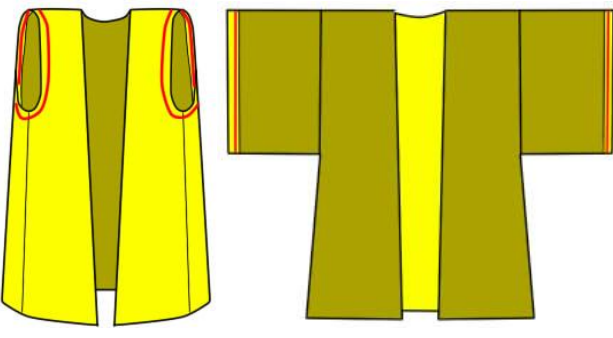
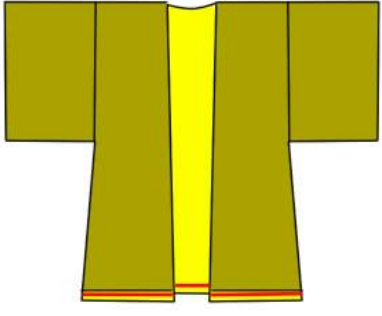
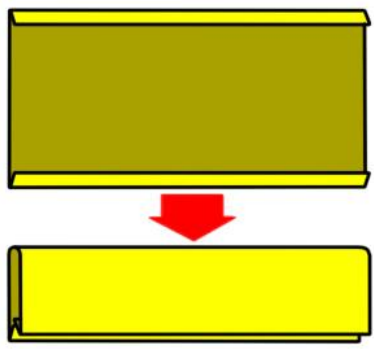
布を縦半分に折って下さい。
 型紙の中心を折り山に合わせるように重ねて印をつけてください。
 型紙を外し印どおりに切ってください。
 ※折り山の所は切らないでください。
 広げると左右対称に出来上がります。

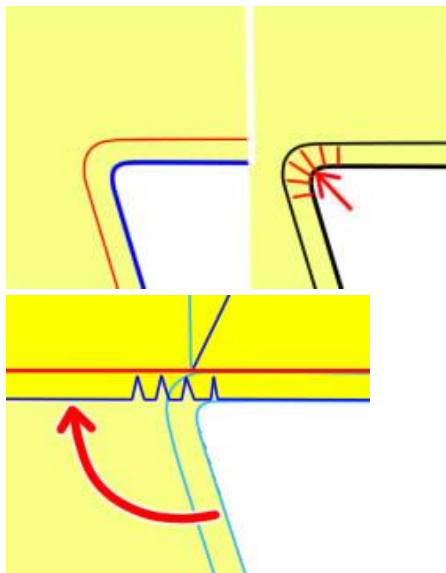


そでをつけてください。
 そでをつけない場合は赤枠内は飛ばしてください
 表を上にした身頃の上に裏を上にした袖を重ねて縫ってください。
 肩と、そで山(真ん中の印)を合わせて、指示された区間を縫ってください。
 縫い代は左右に折ってください。

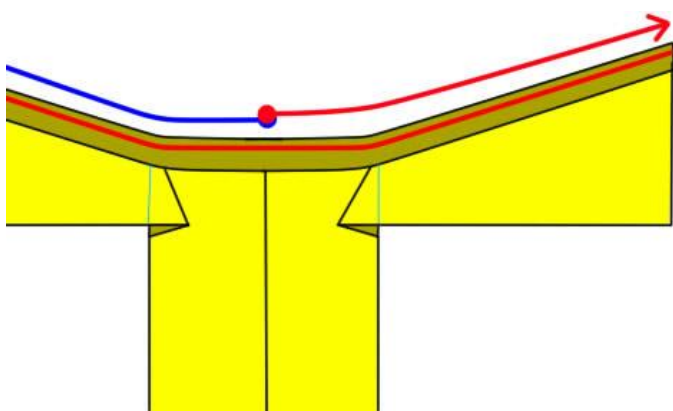


洋裁用語でこれを割ると言います
 袖なしの場合は飛ばしてください。

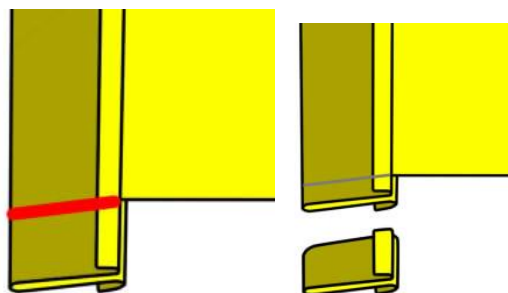
	<p>裏側から袖の底を縫います</p> <p>底を縫ったら袖口を三つ折か二つ折りにして一周縫っておきます</p> <p>袖なしの場合は飛ばしてください。</p>
	<p>脇を縫います</p>
	<p>袖口を縫ってください。</p> <p>裁ち目(はさみで切った所)から5mmの所を縫ってください。</p>
	<p>アイロンでスソを折ってミシンで縫ってください。</p> <p>裁ち目(はさみで切った所)から5mmの所を縫ってください。</p>
	<p>えりの縫い代をアイロンで折ってください。</p> <p>半分に折ってください。</p>



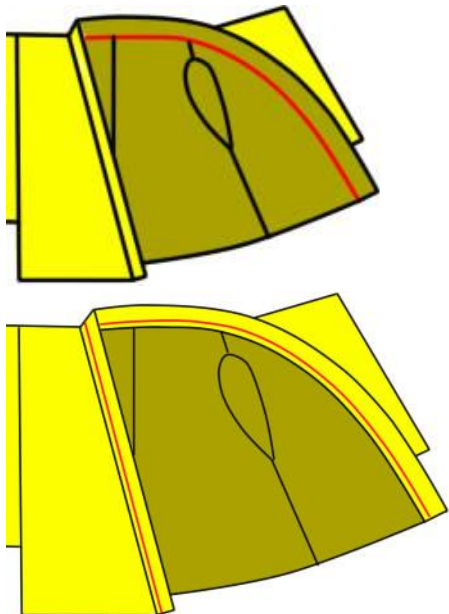
えりの肩のカーブの縫い代に7～8mm 程度の切り込みを入れてください。
切り込みを入れないとカーブがきついので、しわが入りやすいので、忘れずに。



表同士が内側になるように身頃(胴体部分)にえりを重ねてください。
襟の中心と、身頃の背中心を合わせてから左右を縫っていくと綺麗につけやすいですよ。

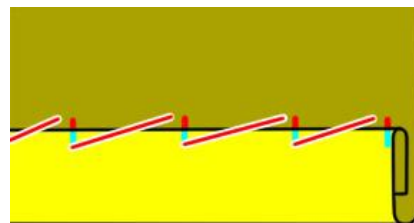


衿の先を縫う。
衿の中心の折り山を裏向きに折る。
余分を切り落とす。



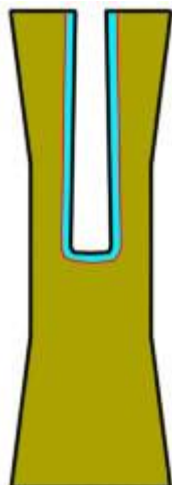
衿の裏の赤い部分を手縫い(まつりぬい)でおもてに目立たないように縫ってください。

でもこだわらなければおもてからミシンで縫ってもよい



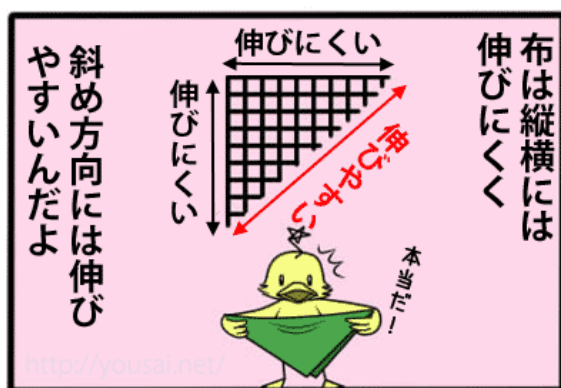
まつりぬい

改造パーツのえり2の縫い方

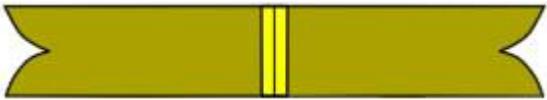


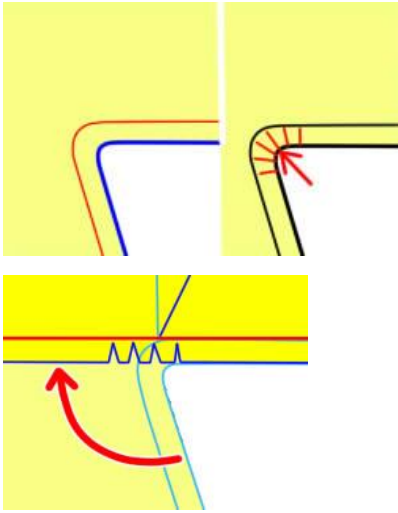
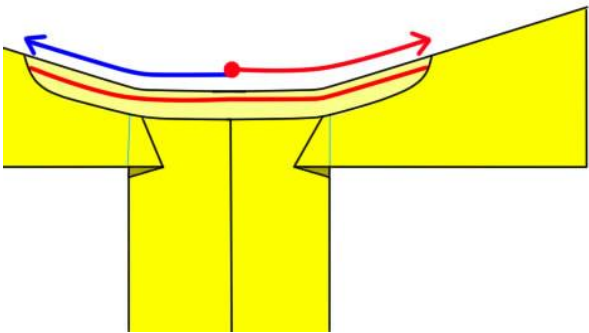
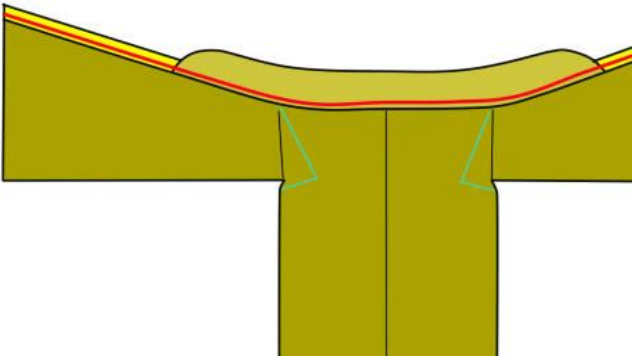


前中心は斜めなので伸びやすいので接着芯を1cm位に細く切って襟をつける場所の縫い代の裏側に貼ってください。

ここに芯を張るだけで見栄えが良くなります。



えり2の生地を内側が表になるように重ねて縫って下さい。

	<p>えりを広げてください。</p>
	<p>えりを半分に折ってください。 両端を縫って下さい。</p>
	<p>表にひっくり返して端から 5mm の所を縫って下さい</p>
	<p>えりの肩のカーブの縫い代に7～8mm 程度の切り込みを入れてください。</p> <p>切り込みを入れないとカーブがきついで、しわが入りやすいので、忘れずに。</p>
	<p>表同士が内側になるように身頃(胴体部分)にえりを重ねてください。</p> <p>襟の中心と、身頃の背中心を合わせてから左右を縫っていくと綺麗につけやすいですよ。</p>
	<p>前中心の縫い代を裏に折ってください。 えりが身頃からはみ出すようにして端から 5mm の所を縫って下さい。</p>

必要な材料

表生地、接着芯、糸

どんな生地を買ったら良いかわからない方へ

T/C ブロード

ブロードに比べシワが入りにくく、イベントに持っていったとき、バッグから出したらヨレヨレという可能性が減ります。

・ポリエステルツイル

化繊なので綿ツイルに比べて軽いです。

しわになりにくいです

張りがあります、パニエを下にはいて広げたい場合に向いていますが、張りがある分柔らかくドレープを出したい場合には向きません。

初心者にも扱いやすい生地です